



田上町 議会だより

第137号

令和4年10月28日発行



▲ 町を彩る竹あかり
「たがみバンブーブー 2022」

■ 主な内容

9月定例会	P 2
請願、発議案	P 3
決算審査特別委員会	P 4～7
付託案件審査報告	P 8～9
一般質問（8議員）	P 10～17
所管事務調査報告	P 18
一部事務組合報告、全員協議会	P 19
「たがみバンブーブー 2022」／編集後記	P 20

田上町議会
フェイスブック



令和4年

9

月定例会

9月8日
9月22日

議案

- ・ 令和3年度一般会計・各特別会計
歳入歳出決算を認定
- ・ コロナワクチン4回目接種関連補正予算可決



▲ 本会議の様子

- 【報告】
- ・ 損害賠償の額の決定及び和解
- ・ 令和3年度一般会計継続費の精算

【人事案件】

- ・ 選挙管理委員及び補充員の選挙
〈選挙管理委員〉

- 涌井 和夫 氏(再任)
- 中澤 昭 氏(再任)
- 入倉 玲子 氏(再任)
- 熊倉 進 氏(新任)

〈補充員〉

- 佐藤 誠 氏(再任)
- 安中 誠 氏(再任)
- 吉田 一也 氏(新任)
- 相田 和美 氏(新任)

任期は令和4年9月30日から4年間です。なお、選挙管理委員に欠員が出た場合は、補充員名簿の順に補充されます。

【専決処分】

- ・ 令和4年度田上町一般会計補正予算に関するもの2件

【条例の一部改正】

- ・ 職員の育児休業等に関する条例

【令和4年度補正予算】

- ・ 一般会計
- ・ 後期高齢者医療特別会計

全ての議案は承認・原案可決しました。

(P8・9参照)

【令和3年度決算審査】

- ・ 一般会計
- ・ 下水道事業特別会計
- ・ 集落排水事業特別会計
- ・ 国民健康保険特別会計
- ・ 後期高齢者医療特別会計
- ・ 訪問看護事業特別会計
- ・ 介護保険特別会計
- ・ 水道事業会計

全ての議案を認定しました。

(P4～7参照)

請 願

番 号	件 名	請願者の住所・氏名	紹介議員	審査結果	意見書提出先
請 願 第 2 号	「コロナ禍においても私立高校生が学費の心配なく学び続けられるよう、私学助成の増額・拡充を求める意見書」の採択を求める請願	新潟市中央区弁天橋通 1丁目13番13号 私学会館内 新潟県私学の公費助成をすすめる会 会長 中村 直美	高橋秀昌 関根一義 藤田直一	採 択	新潟県知事 内閣総理大臣 文部科学大臣 財務大臣 総務大臣 衆議院議長 参議院議長

議員発議による発議案

番 号	件 名	提出議員	議決結果	提 出 先
発 議 第 5 号	国葬実施の撤回を求める意見書について	藤田直一	原案可決 (賛成 9 反対 4)	内閣総理大臣 衆議院議長 参議院議長



▲ 発議案の起立採決

議 会 から の お 知 ら せ

12月定例会について

次の定例会は **12月8日(木)** からの予定です。
議場ではコロナ対策のご協力をお願いしております。
日程は近くなりましたら、田上町議会HPでお知らせいたします。
一般質問の要旨も掲載します。ぜひ傍聴においでください。
田上町ホームページ <http://www.town.tagami.jp/>

TOP→田上町議会→令和4年定例会・臨時会のお知らせ



田上町議会ページに
直接アクセスできます。

決算審査特別委員会



▲ 藤田委員長

▲ 中野副委員長

決算審査特別委員会に付託された案件は、一般会計、特別会計、水道事業会計の決算についてです。

令和3年度一般会計は、歳入総額5億8581万1千円・前年度に比べ歳入で18億5747万4千円（△25・3%）の減、歳出総額53億256万9千円、前年度に比べ歳出で17億6892万2千円（△25%）の減となっています。これは、道の駅、地域学習センターなど建設費、定額給付金事業費の皆減から、前年度より決算額が縮減されたことによるものです。

内容としては、町づくりの指針となる第5次総合計画の実現を目標とし、重点施策として位置付けている事業について優先的・積極的に実施し、除雪車の更新や子育て支援センターの新

規立ち上げ等を行いました。

また新たに10年後の町の姿を見据えた『第6次総合計画』を策定しました。新型コロナウイルス感染症対策においては、令和2年度に引き続き国の臨時交付金等を活用し、より困っている町民の皆様への支援を基本に様々な事業を実施するとともに、ワクチン接種事業に取り組みました。

決算審査特別委員会では、各委員から多くの質疑がありました。3日間での質疑数137件、総括質疑5件でありました。

審査全般を通して、執行側の取組への考え方・成果など質疑を通して明らかにすることができました。

付託された8案件は審査の結果、全て認定されました。

委員長 藤田 直一



▲ 決算審査特別委員会の様子

令和3年度田上町一般会計歳入歳出決算額

歳入 54億8,581万1千円(前年度 73億4,328万5千円)

歳出 53億 256万9千円(前年度 70億7,149万1千円)



前年度と比較し、歳入は18億5,747万4千円(25.3%)、歳出は17億6,829万2千円(25.0%)の減となりました。

令和3年度の主な事業

◎新型コロナウイルス感染症対策事業 3億5,321万3千円

新型コロナウイルス感染症の影響を受け、町民の生活・地域経済を支援するため、さまざまな事業が実施されました。

◆子育て・教育の支援

- ・たがみの赤ちゃん特別定額給付金事業
- ・低所得の子育て世帯に対する子育て世帯生活支援特別給付金事業
- ・子育て世帯への臨時特別給付金事業
- ・修学旅行キャンセル料補助金

◆消費・経済循環の支援

- ・プレミアム付き商品券発行
- ・プレミアム付き飲食券発行
- ・交通利用券回復応援事業
- ・湯田上温泉宿泊費補助
- ・住まい快適リフォーム補助金事業
- ・灯油購入費助成事業

◆個人への支援

- ・PCR検査助成事業
- ・減収対策緊急支援金

◆事業者の支援

- ・新型コロナウイルス感染症拡大防止協力金
- ・農業経営継続支援金
- ・感染予防及び事業継続等緊急支援金

◎新型コロナウイルスワクチン接種 1億1,936万3千円

令和2年度から3年度にかけて、3回のワクチン接種が推進され、交流会館を会場に集団接種が行われました。

◎新たに始まった事業

- ・子育て世代包括支援センターの開設
- ・デマンド型乗合タクシー実証運行開始



令和3年度田上町特別会計歳入歳出決算額



単位：千円

区分	歳入	歳出	主な事業
下水道事業	332,263	322,327	ストックマネジメント基本計画策定業務委託
集落排水事業	77,812	72,903	管渠及び処理場の維持管理
国民健康保険	1,303,669	1,278,091	保険給付、人間ドック助成、特定健診未受診者勧奨
後期高齢者医療	142,915	140,299	主は新潟県広域連合が実施。町では人間ドック助成
訪問看護	44,131	39,576	医師の指示に基づく看護サービスの提供
介護保険	1,407,604	1,354,482	介護サービス給付、介護予防・生活支援サービス事業
水道事業(収益的)	225,203	230,721	施設機能の維持管理、配水管の布設替、水源設備工事
水道事業(資本的)	0	80,583	

総数 5 件

予算の執行管理の徹底は

質問者 小野澤 健一議員

問 監査委員による決算審査意見書の審査意見として、不用額の多さが指摘されました。

その背景として、予算の執行管理体制に何か大きな問題点があるのではないかと危惧しています。

予算は補正予算により更新され、決算に近いものとなるのが一般的です。予算執行により、事業や施策が実行されることに鑑みると、不用額の多さは本来の事業や施策の実効性を損ねているのではないかと懸念します。

無駄遣いを推奨するものではありませんが、不用額のタイムリーな把握をもつてすれば、更なる事業・施策の展開による行政サービスの拡充・拡大が可能となります。

また、不用額の把握は事業・施策の進捗管理の徹底が前提となることから、それが成されれば、PDCAを通してそれらの

実効性も高まります。そこで質問です。

① 予算の執行管理は具体的にどのように管理されていますか。

② 毎期、監査委員の指摘を受けていますが、具体的に改善していることはありますか。具体的に改善の指示はしていますか。

られたものの、引き続き監査委員より指摘を受けました。改めて指示していきます。

③ 必要に応じて各課長から報告を受けてきました。これからは、定期的な報告を受けていきます。

ふるさと納税の評価と今後の目標は

質問者 池井 豊議員



問 ふるさと納税、令和3年の当初予算は1200万円、実績は2467万円でした。頑張ったと思います。しかしながら、政策推進室長に目標値を尋ねると「前年を割り込まないようにします。」との答弁でした。やればできるのに、目標が低いのです。今後は高い目標で行うべきです。

100%の予算執行は難しいですが、報告を受ける中で、庁議などに諮り、協議・把握しながら、各課に指示を出していきます。

適正な労働環境を

質問者 今井 幸代議員

問 コロナ関係業務や公共交通、道の駅業務などの大型事業も重なり、令和2年度同様、労働環境が懸念されます。業務過多状態が長期化すれば、職員の心身への影響もあるのではないのでしょうか。各事業の各課への振り分けや人員配置などでの改善すべき点や、できる点はないのでしょうか。

6月定例会では職場の風通

両小学校の統合の検討は

質問者 池井 豊議員

問 田上小学校の第一学年25人（女子9人）で少人数の状態に突入しました。

出生数40人以下が続いています。統合の検討はいつ入るのですか。どのような状態になったら、検討するのでしょうか。

出生数は平成29年41人、平成30年43人、令和元年43人、令和2年33人、令和3年36人でした。どのように教育体制を組みますか。

教育長 令和3年、田上小学校は251人、10年後には生徒数が半分になる予測です。少人数では教育の質が落ちるということはありませんが、両小学校とも創立から150年の歴史がありますので、丁寧な議論を重ねていきたいと思

町長への

総括

し、明るい職場づくりのための面談などもしていると答弁していましたが、これらを通じ、町長自身が捉えている労働環境や職場環境における課題は何ですか。「適正な業務量」はどのようなものでしょうか。

職員が「人材」として、個人の資質向上、モチベーションを高く仕事ができる環境づくりを進めてください。

町長 日々の変化や業務の量、その時々状況に応じて、適正な人事に努めていきたいと考えます。

退職した職員については、これからの活躍を期待していただき、残念でした。

令和2年度より、直接、職員と面談してきました。特に管理職に関しては体調などを見ていきます。

風通しのよい職場、適正な業務量に努めたいと思います。

宝の山・護摩堂山の管理は

質問者 渡邊 勝備議員

問 産業振興課の努力により、登り口の休憩所も春先の大掃除

できいになり、登山道もあじさいまつりの前に細かい砂利が入り、歩きやすくなりました。残念なこと今年あじさいはタケノコの収穫時期と重なり、予防時期が遅く、登り口付近と頂上手前の手洗い場付近の陽が当たらないところでは、病気で花はありませんでした。

① 令和2年の決算審査特別委員会で同僚議員が護摩堂山の草刈りの頻度について質問しています。延べ3回草刈りし、紫陽花は防除・剪定をしていますとの答弁でしたが、残念ながら管理されていないときがあります。産業振興課も多忙とは思いますが、工程表とチェックリストを作成し、対応してほしいと思います。



▲ 宝の山 護摩堂山

町長 ① あじさい園の管理について、施工内容や時期については年間工程表を作っています。面積が広いことから、登山者からの指摘を受け、作業することもありました。整備する事業所と密に連絡を取っていきます。

護摩堂山の管理はしっかりとやっています。

② トイレについては、利用者の声を受け入れていきたいと思

し時間をください。

251人、10年後には生徒数が半分になる予測です。少人数では教育の質が落ちるということはありませんが、両小学校とも創立から150年の歴史がありますので、丁寧な議論を重ねていきたいと思

総務産経常任委員会 付託案件審査

一般会計補正予算（専決処分）

◆ 8月8日付

8月の大雨により被害を受けた村上市及び関川村を支援するため、県内市町村と県の職員による「チームにいがた」が編成されました。町からは、避難所運営、罹災証明書交付で、計11名が派遣されました。その経費として、77万8千円増額となりました。

◆ 8月18日付

主な内容は、国庫補助金として126万円を増額するものです。新型コロナウイルスワクチン接種体制確保で、オミクロン株に対した接種体制、4回目の接種のための経費です。

田上町職員の育児休業等に関する条例の一部改正について

国家公務員の制度改正により、条例を改正するものです。

【主な改正】

- ・ 子の出生の日から57日間以内の非常勤職員の育児休業の取得要件の緩和。
- ・ 子が1歳以降の非常勤職員の育児休業の取得の柔軟化。
- 夫婦が同時に育児休業を取得することが可能でしたが、子が1歳以上1歳6か月未満の期間の途中で夫婦交代での育児休業を可能とします。

主な 議案内容

- ・ 県北部豪雨、新型コロナ対策事業等の専決処分を承認
- ・ 職員の育児休業等に関する条例の一部改正
- ・ 令和4年度一般会計補正予算、必要経費を追加

Check 議論の中身

Q 派遣は県からの要請であり、災害救助法も適用されており、県からの補助金はどのくらいになりますか。

A 県からの補助金はあります。未定ですが決定次第、報告します。

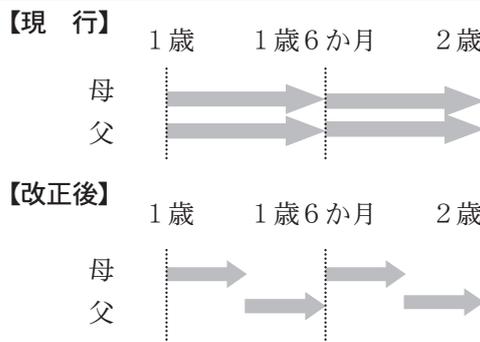
Q 建物被害認定調査には知識が必要ではないですか。

A 過去に派遣経験がある、または研修を受けた職員を派遣しています。

Check 議論の中身

Q 正規職員並みに育児休業が取れるように検討していただきたいです。

A 正規職員は3歳まで育児休業は可能。非正規職員は法律上3歳までの育児休業はできません。今後、可能か研究してみます。



※保育所等に入所できない場合

一般会計補正予算

主な内容は、総務費では、財政調整基金への積立金として、9200万円が計上されました。商工費は、護摩堂山、道の駅

Check 議論の中身

Q 土木工事に対し、資材高騰で、今後、工事費が上がりますか。

A 現状では、予算の範囲内で動いています。

Q 資材高騰で工事費が上がった場合、国からの補助金はありますか。

A 国からの補助金はありません。

いずれの議案も全会一致で承認、原案可決しました。

副委員長 渡邊 勝衛

たがみに係る修繕料で80万円の追加です。
土木費は、除雪対策として、オペレーターの確保ができる見込みから、除雪車を22台から23台に増やすために、117万5千円の追加です。
消防費は、消防ポンプ車庫立替工事で、資材高騰により202万5千円の追加です。

社会文教常任委員会

付託案件審査

一般会計補正予算(専決処分)

衛生費で新型コロナウイルスワクチン接種事業においてオミクロン株対応ワクチン接種の準備費用(印刷、郵送、システム改修)です。

一般会計補正予算

総務費で納税通知書のQRコードの印刷製本費で52万円、これにより来年度から自宅パソコンやスマートフォンからの決済が可能になります。

- ・新型コロナウイルス対策、オミクロン株対応ワクチン接種に向けた補正
- ・指定寄付による学校備品の購入、地域学習センター図書購入の補正

主な議案内容

衛生費で妊産婦医療費助成事業は11人の実績により70万6千円追加。新型コロナウイルスワクチン接種事業のオミクロン株対応ワクチン接種するための委託料などで1億735万7千円の補正です。



Check

議論の身身

Q オミクロン株対応ワクチンの接種を目前に、現行ワクチンの打ち控えやキャンセルはありませんか。また、コールセンター混雑の改善を考えていますか。
A ワクチン接種の予約変更の問い合わせはありますが、キャンセルは多くはありません。コールセンター混雑解消のために予約券の発送で対応しています。

社会文教常任委員会からの申し入れ

国は9月20日からオミクロン株対応ワクチン接種の方針を出していますが、田上町は10月26日からの接種を予定しています。町長に、早期対応を検討することについて、申し入れました。その後、10月11日よりオミクロン株対応ワクチン接種が始まることになりました。



Check

議論の身身

Q 指定寄付により購入する図書の内容は。また、図書購入の方針はどうなっていますか。
A 図書購入の内容は実施したアンケートに基づいて購入予定です。方針は他図書館状況を調査して、児童書、文学書、その他実用書など、それぞれ3分の1を目途に購入する方針です。



▲ 地域学習センターの図書コーナー



▲ 社会文教常任委員会

後期高齢者医療特別会計補正予算

令和3年度の保険料の精算により、納付金の追加があるため、111万7千円を増額するものです。

いずれの議案も全会一致で承認、原案可決しました。

委員長 池井 豊



藤田直一 議員 (文責)

竹林整備と竹の子増産について

問 竹の子は今年、豊作の年でした。広報PRやイベント、報道機関による情報発信で、連日たくさんのお客様から道の駅に来ていただき、大変なにぎわいでありました。当町に訪れた人は大幅に増え地域活性化につながったと確信をしています。

そこで毎年推測で4・5t、5t、町内で生産されていると言われていますが、実際、正確にどれくらいあるのだろうか、私なりに調べてみました。把握できませんでした。(令和4年度・推測で、竹の子収穫は約14t、竹林面積約17ha)

町長も『町の特産品である桃、梅と並ぶ竹の子を活用したブランド化が図られれば、収穫の増加と共に販売単価の上昇も見込まれ、生産者の所得向上にもつながります。そのためにも有効な施策を検討していく。』と語っています。

竹の子を『田上町の農産品の顔』として町内の全竹林面積と

収穫可能な面積、収穫数量の把握調査、竹林整備補助金制度の確立は農業支援策を進めるにも重要と思えますが、町長に伺います。

町長 町にとって竹の子、竹林は大きな可能性を秘めた分野であると考えています。特に、竹の子は町内の各所での販売状況などから所得向上につながり、町を代表する産物であり、地域資源であると考えています。町としては、竹の子を含めた竹全体を通じて、そのブランド力向上につなげていきたいと考えています。

今後予定している農家からのアンケート調査の実施、聞き取り調査などを通じた中で、竹の子に関しての情報収集も行い、施策に反映できるように研究していきます。そのためには、竹林面積・出荷数量など基本情報の整理は、必須の基本資料です。概要を把握するための調査に取り組んでいきます。

民生委員の業務と活動について

問 今、全国において民生委員のなり手不足が問題になっていきます。地域に貢献する重要な役割を担っている民生委員ですが、扱う問題の多様化により民生委員のなり手不足の声が当町でも聞こえてきます。ボランティア活動と言われる一方で、福祉における重大な役割を担っており、プレッシャーも大きく精神的な負担になっているとも言われます。今年の11月30日に任期3年間を迎え、改選の時期となっていますが、当町の実態はどのように把握されているのか、町長に伺います。

町長 ご指摘の通り当町においても同様です。幸いにして、現在在員もなく、充足率は100%となっておりますが、改選において後任となる人選には、かなり苦慮しました。ご協力をいただいた区長さん、退任される民生委員の皆さん、関係者の皆さんから多大なるご協力をいただき、

感謝しています。

問 民生委員の本業とは別に、除雪作業や募金活動なども行われている地区もあると聞いています。多様化する業務の中で本業以外の業務が増えただけでも大きな負担になります。慣例として引き継がれているのであれば、実態を確認して改善することも重要と思えますが、町長に伺います。

町長 ボランティア精神でご尽力をいただいていることに、本当に感謝申し上げます。民生委員の業務については、多様化していることも事実です。社会奉仕の精神を持ちながら活動をしていただいている方々が、大きな負担を感じてしまうことは、避けなければなりません。今後は、保健福祉課と連携を密にして努めるよう指示をしました。

ここが 一般質問

ここが聞きたい

産業振興に関する条例は立派な内容なのに「絵に描いた餅」！その条例が制定され4年が経過していますが、執行体制はどうなっていますか？

町長：できていません。

小野澤健一 議員 (文責)

自主財源の二本柱(町税と固定資産税)においては、個人の割合が73・6%とかなり高く、人口減少を伴う少子高齢化の中で、将来的に個人税収の大幅な落ち込みを確実に予測できます。これに抗うためには、産業振興によって企業業績を向上させ、結果として法人(事業者)

財政収入としての産業振興について

市町村においては、急激な少子高齢化の進展に伴い、就業人口の中軸として担税力の中心に在った高所得者層が定年を迎える事等から、遠くない将来に財政収入が大幅に落ち込む事態が十分に予測されています。

私の調べでは、田上町にもその兆候が既に出ています。

「産業振興」に真剣に取り組まない市町村は、現在進行形で今後ますます加速していく少子高齢化等の流れの中で、個人からの大幅な税収の落ち込み分をカバーできず、財政破綻や行政サービスの低下を強いられます。不便さや生きづらさが生じてきます。

自主財源の二本柱(町税と固定資産税)において、個人の割合が73・6%とかなり高く、人口減少を伴う少子高齢化の中で、将来的に個人税収の大幅な落ち込みを確実に予測できます。これに抗うためには、産業振興によって企業業績を向上させ、結果として法人(事業者)や絵空事になっていないか質します。

の税収増加を図って行く以外に有効な手立てはないと考えます。

田上町には、『田上町小規模企業振興基本条例』が平成30年3月20日付で制定され、同年4月1日から施行されています。

町民宛の「起請文(神仏に約束を誓い、約束を破つたら神仏による罰を受けるとするもの)」とも言える「条例」で定められた意味合いは非常に重いものがあります。

「産業振興」は、中小企業をはじめとする地域の産業が市町村の中長期の経営にとって重要と考え、財政出動を含めた「相応な覚悟」を持って推進しなければならぬものです。

当該条例の目的には、「(中略)町の責務等を明らかにすることにより小規模企業の振興に関する施策を総合的かつ計画的に推進し、もって小規模企業の成長発展及びその事業の持続的発展並びに地域経済の活性化及び町民生活の向上に寄与することを目的とする。」とあります。

最近、当該条例を無視した施策が実施されました。それは「原油価格等の高騰に係る緊急経済対策支援金」であり、制度内容に致命的誤りがあります。事業者は燃料高騰に対しては、使用量を節約する行動を取るの

問 産業振興の位置付けは。

町長 産業振興の発展なくして町の発展はないと承知しています。

問 施行後4年経過しています。当該条例を実施するための「執行(推進)」体制はどのようになっていますか。

町長 執行体制はできていません。全庁的体制でやっつけていかなくてはならないと思います。

問 条例遵守が出来ていませんが、政治的責任をどのように考えますか。

町長 一つでも二つでも遵守していく努力をします。

最近、当該条例を無視した施策が実施されました。

町長 当然考えていかななくてはなりません。





わたなべ かつえい 議員(文責) 渡邊 勝衛

災害に備え地区要望の採択率の向上を

問 地区要望の採択状況は、採択件数、採択率、金額とも増えています。要望数を減らすには採択を多く行い、採択率を上げるしかありません。特に金額の大きい工事は、まちづくり財政計画に明示し、工事を早く実施することが可能です。交付金を有効に使い、安全で安心な町に加速していただきたいです。今後の対応について伺います。

地区要望は町民の命を守る大事な要望です。

町長：安全で安心な生活ができるよう、まちづくりに努力していきます。

町長 毎年、地区要望も多種多様な内容になり、大規模の要望で費用が高額となる案件も多々あります。多額な経費が必要な案件は、まちづくり財政計画に計上して計画的に事業を進めています。交付金の活用については、財政的に有利な社会資本整備総合交付金等を活用しています。借金の返済など将来の負担も考慮した上で事業を進めています。財政的に有利な交付金等を活用することで1件でも多くの要望が採択でき、地区住民

が安全で安心な生活ができるよう、まちづくりに努力します。

県に安全で安心な通学路の確保を

問 令和5年度の地区要望で上野・山田地区が要望している国道403号線のセブンイレブン越後田上店から田上駅に向かう歩道は、昨年、応急対策が実施されましたが、解決には至っていません。10件以上の事故があり、魔の歩道となっています。今年度の実施計画について伺います。

町長 歩道の計画は、用地交渉に難航しているとのこと。本来であれば抜本的な歩道改良改修工事の実施が必要な現場です。歩道工事は、歩行者の安全を図る上で非常に重要です。当該箇所の歩道改良の実施に向け、引き続き県に要望していきます。

側溝改良で安全で安心な通学路を

問 原ヶ崎地区が要望している町道坂田・湯川2号線で田上中学校の校門から国道403線に向かつて500mの側溝改良です。残念なことに約30年近く要望しても手をつけていません。ここは通学路になっています。特に、田上中学校の校門付近では強い雨が降ると、町の中でも一番早く町道に水があふれます。事業化が必要です。今後の対応について伺います。

町長 町道坂田・湯川2号線の側溝改良は、中学校校門付近から国道403号線に向かつて500mが未着手区間として残っています。500mという長い延長側溝改良工事となるので、着手するには財政的に難しい状況ではありますが、交付金等を有効に活用して、年次計画で進めていきたいと考えています。

県に安全で安心な後藤大橋交差点の確保を

問 後藤大橋交差点の事故件数は過去最高となっています。衆議院議員、県議会議員、町議会議員と私の4名で警察本部長、副知事に恒久対策を要望しています。今後の対応について伺います。

町長 今現在の事故件数は、既に昨年を上回る結果となっています。昨年度、新潟県よりオーバーハングの止まれ標識を設置され、事故件数の減少を期待していただけに残念でなりません。加茂警察署によると、10件の事故の多くが交差点や止まれ標識の存在に気づかなかったとのこと。今後も事故防止に向けて、新潟県、新潟県警察、加茂警察署、三条地域振興局、町など関係機関が一体となって交通事故防止に向けて対応していきます。事故の発生が抑えられないときは、信号機の設置を改めて強く要望していきます。

ここが 一般質問

ここが聞きたい

マイ・タイムライン作成のワークショップの開催を！

町長：信濃川下流河川事務所協力のもと、タイミングをみて実施に向け検討します。

防災への取組「マイ・タイムライン」

問 マイ・タイムラインの作成は、住民一人ひとりが自分自身の置かれている洪水リスクを踏まえ、自分自身に合った避難行動を自ら考えることを基本としています。ワークショップを通じて他者と意見交換をすることにより、一人では気づかなかつた「避難場所の備えや逃げ方」を「避難場所の選定や逃げ方」を知り得ることができ、防災への意識も向上します。マイ・タイムライン作成のワークショップを開催してはいかがでしょうか。介護現場での作成に、ケアマネジャーや相談支援専門員などの連携について、国は予算を付けています。町長の考えはいかがでしょうか。

防災教育に、子どもにも分かりやすいよう個別行動計画を一覧にした「逃げキッド」を利用するのも方法です。継続的な防災教育についての考えを教育長に伺います。

なかの かずみ 議員(文責) 中野 和美

側溝改良で安全で安心な通学路を

問 原ヶ崎地区が要望している町道坂田・湯川2号線で田上中学校の校門から国道403線に向かつて500mの側溝改良です。残念なことに約30年近く要望しても手をつけていません。ここは通学路になっています。特に、田上中学校の校門付近では強い雨が降ると、町の中でも一番早く町道に水があふれます。事業化が必要です。今後の対応について伺います。

町長 町道坂田・湯川2号線の側溝改良は、中学校校門付近から国道403号線に向かつて500mが未着手区間として残っています。500mという長い延長側溝改良工事となるので、着手するには財政的に難しい状況ではありますが、交付金等を有効に活用して、年次計画で進めていきたいと考えています。

県に安全で安心な後藤大橋交差点の確保を

問 後藤大橋交差点の事故件数は過去最高となっています。衆議院議員、県議会議員、町議会議員と私の4名で警察本部長、副知事に恒久対策を要望しています。今後の対応について伺います。

町長 今現在の事故件数は、既に昨年を上回る結果となっています。昨年度、新潟県よりオーバーハングの止まれ標識を設置され、事故件数の減少を期待していただけに残念でなりません。加茂警察署によると、10件の事故の多くが交差点や止まれ標識の存在に気づかなかったとのこと。今後も事故防止に向けて、新潟県、新潟県警察、加茂警察署、三条地域振興局、町など関係機関が一体となって交通事故防止に向けて対応していきます。事故の発生が抑えられないときは、信号機の設置を改めて強く要望していきます。

マイ・タイムラインとは、住民一人ひとりのタイムライン(防災行動計画)であり、台風等の接近による大雨によって河川の水位が上昇する時に、自分自身がとる標準的な防災行動を時系列的に整理し、住民自ら考え、命を守る避難行動のための一助となるものです。



防災訓練と田上町のボランティアセンター

問 田上町ボランティアセンター(以下、センターと省略)は、県内外の多くの災害に貢献してきたという実績があります。災害にはセンターはなくてはならない存在です。ところがセンターは平成14年に町が設置したにも関わらず、事務局を田上町

社会福祉協議会においてはありますが、活動拠点となる場所がありません。設置以来、町に拠点づくりをお願いしてきました。災害時には本部と連絡を密に取り合い、ともに動きます。被災者の支えとなるセンターの位置づけ、拠点をしっかりと考えていただきたいと思います。町長はどの様に捉えていますか。

町長 大きな災害が発生した場合、炊き出しや被災した方々への支援のための調整などの活動を担っていただく大切な組織であり、平時時も活動は多岐にわたり、地域福祉を推進していく上で非常に重要な組織であると考えています。拠点がないと活動が進まないということが客観的に認められたときには、何とかしなくてはならないと思います。



たかはし かずはる 榎一春議員(文責)

若者移住推進策における
宅地提供の進捗は

問 6月定例会議で問いました
移住推進住宅提供について再度
町長に問い質します。

町長の2期目の所信表明で
は「人口減少という流れの中に
あっても、決してこの町を消滅
させる事があってはならない」
という強い思いや将来像を述べ
られていました。

私も人口を減少させないた
めに、信越線の西側から国道
403号線バイパスの間に宅地
提供に関する質問を複数回実施
しています。近年は令和3年3
月定例会で質問し、それに対す
る町長の力強い答弁もありまし
た。

さらに町には、令和16年頃の
田上町のあるべき姿を目指した
計画が平成26年に「田上町都市
計画マスタープラン」として策
定されています、そして8年が
経過しています。

その中にも、羽生田駅・田上
駅共に信越線の西側から国道
403号線バイパスの間に住宅

地を造っていききたいと計画され
てあります。内容は具体的に新
潟県農業部局と調整を踏まえ、
住宅地の拡大を検討する。また、
計画の実現に向けた、計画推進
体制・計画実行管理体制が挙げ
られています。

町長の思いや、田上町都市計
画マスタープランの実施計画に
対して次の質問をします。

①田上町都市計画マスタープ
ランの計画実現に向けた推進体
制や行政による協働体制の構築
等、具体的にどの様に民間事業
者に宅地拡大の計画を示し、協
力を求めることをしてきたのか
具体的にお聞かせください。

②令和3年3月定例会の質問
に対して、町長は「空き家をリ
フォームして住むことは好まれ
ず、交通・買物等利便性のよい
区画整備された土地を求めると
思います。若者から移住しても
らうために民間の力、活力を得
ながら宅地開発ができるように
働きかけていこうと考えていま
す。」と答弁されました。約1
年6カ月経過しましたが具体的に
どのようなことをしてきまし

たか。

③羽生田駅周辺開発について
です。駅前の様子は住宅地・観
光地・商業地と町の縮図を感じ
ます。羽生田駅周辺は空き家、
空き倉庫、空き事務所等ありま
す。駐輪場を移動して車のロー
タリースペースを広く確保すれ
ば便利な駅になると思います。
町長の考えを尋ねます。



町長

田上町都市計画マス
タープランの計画実現に向けた
活動は、担当課で何かに取り組
むことはしていません。受身
の姿勢ですが、民間事業者の参
入を期待していました。

2点目の住宅地開発業者を巻
き込むアクションについては新
型コロナウイルス感染症の収束
が見込めない状況であり、積極
的な働きかけは行ってきません

て治療も予防も全額公費とする
べきです。

町長

未曾有の新型コロナウイルス
の現状から、関係経費は
当然全額国庫負担とすべきで、
政府は必要な対応をするべきで
す。

町はPCR検査の意義と
検査手順を大々的に住民
に示すべき

町長

田上町は、500回分のP
CR検査を新年度予算化しまし
た。住民は1回千円の負担です
が何回でも検査できます。

しかし、8月17日時点での利
用者は8.6%しかいません。
「さずな」には検査の必要性や
活用方法、県央研究所に行けな
い住民が気軽に検査できる方法
など全く記事がありません。

これでは町が検査の重要性を
意識していないことではありま
せんか。

町長

PCR検査への意識が
高まるよう、改めて周知します。



教育長

週1回や月1回の定
期検査は考えていません。

学校での検査を強化すべき

町長

小中学校の児童生徒への感
染が急増しています。学級閉鎖
と一部の検査では受け身の対策
です。

定期的な抗原検査を実施する
ことを求めます。

ここが 一般質問
聞きたい

新型コロナウイルスの爆発的感染拡大に対して、
町独自のPCR検査の利用拡大と学校における抗原検査の定期的実施を！

町長：PCR検査の利用拡大は改めて町民に周知を行う
教育長：学校での定期的な検査は考えていない



たかはし ひであき 高橋秀昌議員(文責)

爆発的感染の広がりに政府
の対策はこれで良いのか

問 コロナウイルス感染症は

国内で8月25日で1801万
8973人。死者数3万7952
人に達し、県内では17万7299
人で死者数119名となってい
ます。

県内の陽性率は、8月2日
で69.9%であり、この数字は、
検査数が余りにも少なすぎるこ
とを示しています。

コロナウイルスの感染を抑え
込むには、いつでも、どこでも、
何回でも、検査を行い、感染し
ても発症しない人を発見し、保
護、治療することが極めて大き
な効果を発揮するというのが科
学者の見解です。

全国知事会新型コロナウイルス
緊急対策本部は、政府に検査
試薬、検査キットの供給体制の
確保やPCR検査の無料化を求
めています。

検査数を飛躍的に増やしてこ
そ、コロナウイルス発生の中心
を把握でき、具体的対策をする
ことが可能になるということです。

第7波で感染が爆発的に広
がっているのに、感染者の全数
把握をしないと政府は発表しま
した。

新型コロナウイルスが発生して
4年目になるのに、保健所や医
療の充実を行わず、現場が大変
だから全数把握をしないという
のは場当たり的ではありません
か。

町長

国の対策は後手に回り、
場当たりのな対応となっている
というふうに感じています。こ
れまでの新型コロナウイルスの
感染状況等を考慮すれば全数把
握の見直しについては反対です。

その対応等に当たっている関
係機関等の負担を考えるのであ
れば、国がそれら関係機関に対
し積極的な財政支援を行いマン
パワーの確保を図る必要がある
ものと考えます。

町長

政府はコロナ感染症は、軽
症が多いからと、現在の2類か
ら5類にする主張です。

5類は、感染した人も予防も
住民負担となります。2類とし



池井 豊 議員 (文責)

県北豪雨をみて、改めて羽生田川の水害対策を問う

問 上流部は土砂崩れや護岸崩壊の起きる可能性があります。県北豪雨と照らし合わせると、一旦、川をせき止め鉄砲水や土石流の心配があります。中流域はコンクリートブロックの老朽化や植物の繁茂で護岸崩壊の危険があります。溢水や道路陥没の心配があります。

町長 これからの羽生田川の護岸補修や老朽化対策はどのように行っていくますか。また、改修から40年以上経過した羽生田川の抜本的な改修工事はどうに行いますか。

町長 現在の羽生田川は改修から40年以上が経過しており、護岸ブロック等の劣化が一部見受けられます。出水期前には現場の状況を確認しながら、河川除草等の維持管理に努めています。また、河川パトロールの際は現場の状況を確認し、著しい損傷を発見した箇所につきましては早急に必要な措置を行って、

河川機能を保てるよう、維持管理に努めていきます。

なお、羽生田川の抜本的な改修には相当な経費を伴います。現時点では維持管理に努めていきます。

今度、池井議員と現地視察したいと思います。

関係人口を構築して、より深い交流を！

問 水害の話の続きです。村上市の高根地区は水害の被害も大きく取上げられましたが、断水で困った地区でもありました。しかし、日頃からの関係人口の構築により、ボランティアが多く集まり復旧が加速したそうです。

田上町は単なる観光から体験観光や着地型の観光に踏み出し、単なる「交流人口」から一歩踏み出したところだと思えます。これから関係人口をどう増やしていきますか。

佐藤杯駅伝は形骸化しています。今後の活性化は？

問 佐藤杯駅伝は以前のように町内一周ではなく、地区對抗的なエントリーは少なく、中学生チームと愛好家の参加です。コロナ禍の影響も有ります。コロナ禍の影響も有ります。年々参加チームは減り、今年8チームのみだと聞いています。まさに形骸化です。「誕生した時の意義が失われています」佐藤秀三郎先生の功績を称え、マラソン・陸上の繁栄につくす大会だと思えます。今こそ立上

げ当時の意義を再確認し、大会の活性化を図る必要があると思えます。

教育長 近年はチームを組む人数がそろわないということ、参加数の減少が課題です。今後は、継続実施する上で大会を活性化させることも必要だと考えています。様々な対策について、今大会終了後の反省会で総括し研究します。



「道の駅たがみ」の屋外ステージ音響設備整備について

問 「道の駅たがみ」と交流会館と憩いの広場の隙間のあるところに屋外ステージ移動組立て式、雨の場合のステージ屋根、音響設備など環境を整備することで、観光人口並びに交流人口の拡大を促進することにも、田上町の文化芸術の普及を図ることで活力と潤い、賑わいのまちを目指すことを提案します。

町長 経費、施設のレイアウト、保管場所等の関係もあり、これまでのコンセプトにないものであるため、今のところそのような環境を整える考えはありません。しかし、今後指定管理者や関係者、利用者からそのような要望を多くいただくようであれば、どういったことであれば可能か研究していきたいと思えます。

ここが聞きたい 一般質問

未成年に対する自殺対策は、これまで以上に喫緊の課題では

町長：今後も自殺予防対策に努めていきます。
教育長：自分の気持ちを周りに伝える授業に取り組んでいます。保健福祉課とも協議していきます。



森山 晴理 議員 (文責)

問 日本のコロナ禍における自殺の動向について、子ども、若者、女性の自殺者数、自殺死亡率が増加したことが指摘されています。未成年に対する自殺対策は、これまで以上に喫緊の課題と言えます。厚生労働省と文部科学省が学校現場における自分の気持ちを周りの友達や先生に伝える授業に取り組んでいます。さらにSOSの出し方に関する教育を推進しています。当町でも新潟県等が推進する同授業の実施のための予算を設け、子ども、若者の自殺対策推進を提案します。

田上町における自殺対策事業について

町長 町の自殺対策事業は、令和3年3月に策定した第2次町自殺対策計画により、保健福祉課と教育委員会が連携し、児童生徒の自殺予防やSOSの出し方教育についての研修方法を検討することとしています。また、今まで何度か民生委員や福祉施設関係職員、町職員を対象

にゲートキーパー養成講座を開催してきました。今後も自殺予防対策に努めていきます。

教育長 小中学校では、新潟県教育委員会の新潟県いじめ等防止のための資料集により、自殺予防対策を各校の児童生徒の学年に応じて実施をしています。以前よりソーシャルスキルトレーニングとして、自分の気持ちを周りの友達や先生に伝える技術を学んでいます。児童生徒の自殺予防対策について、保健福祉課と協議していきます。

問 フードバンクの活動をしていると、現場では大変なことが起こっています。子どもがSOSを出すサインとして、今は不登校が挙げられます。精神科医の松本俊彦先生の話では、「不登校は子どもたちが生き延びるための戦略であると捉えることが重要」と述べています。子どもが生き延びるだけではありません。子どもが安心して暮らせるにはどうしたらよいのか、SOSを受け止める母親のような

役割に取り組んでいただけないでしょうか。

町長 自殺というのは本当に重い課題だと思います。不登校そのものが子どもにとっては大事な生き延びるための戦略なのだということに感銘を受けました。命を大切にすること、自殺防止について、学校も含めて真剣に取り組んでいかなければならないなと思っています。

教育長 不登校について、その子に寄り添う、気持ちをくみ、一緒に考えていくということが大事だと思います。

「ゲートキーパー」とは、自殺の危険を示すサインに気づき、適切な対応（悩んでいる人に気づき、声をかけ、話を聞いて、必要な支援につなげ、見守る）を図ることができるとのことで、言わば「命の門番」とも位置付けられる（厚生労働省より）

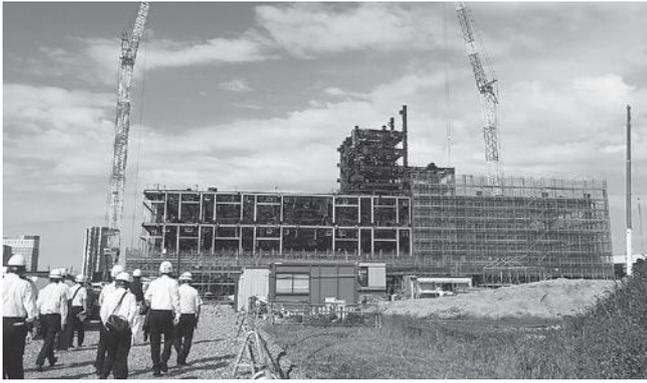
**社会文教常任委員会
所管事務調査**

期日 令和4年8月22日

【県央基幹病院】

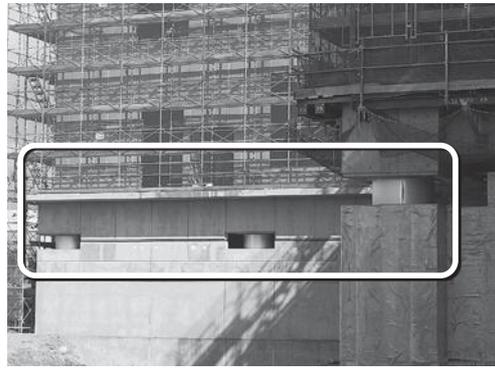
■県央基幹病院の建設現場を視察し、工事に進捗状況や建物概要を調査してきました。

工程表により、工事は予定どおりに進み、令和5年12月の工期に合うとのことでした。開院の予定は令和5年度中です。



▲ 県央基幹病院建設現場

最新の免震構造や防水扉・防水板により災害に備えられた施設であることを確認しました。
1/1の病室模型（モデルルーム）を作り、医師や看護師から使いやすい病室の意見を収集しているとのことでした。



▲ 免震構造（囲み部分）

▼ 4人部屋のモデルルーム



【県立加茂病院】

■県央基幹病院開院後の県立加茂病院の役割について新潟県病院局から説明を受けました。

指定管理者制度が導入され、病院・看護学校・福祉施設等を多角的に運営する実績を持つが指定管理者に医療法人 崇徳会に決定しました。

指定管理者制度は導入するも県立病院には変わりないこと、現状の診療科は維持すること、平日平時には救急患者を受け入れること（夜間休日は県央基幹病院等に対応する）が説明され、詳細は指定管理者と詰めていくとのことでした。

Check 議論の中心

Q 病児保育園の対応はどうなりますか。

A 小児科医が少なく専門医の配置はできない現状です。指定管理者と協議していきます。

Q 県立病院で赤字でしたが、指定管理で黒字経営できるのですか。

A 指定管理料（一般会計操出金）は出します。人件費等で経営を改善できるのではないかと思います。

【加茂・田上病児保育園】

■病児保育園の利用状況について説明を受け、実績が少ないことがわかりました。

開園直後に新型コロナウイルス感染症がまん延したことにより、①インフルエンザなどのほかの感染症が少なくなったこと、②コロナ禍で保護者が休みを取りやすくなっていたこと、と説明がありました。また、保育士・看護師は病児の保育がないとき、組合事務局業務を兼務していることも報告されました。

Check 議論の中心

Q 利用実績の少ないのは登録者数（現在385名）が少ないからではないでしょうか。登録者となりうる加茂市・田上町の人数はどのくらいでしょうか。

A 登録者数は上げていきたいと思いますが、登録者になりうる人数は2533人と見込んでいます。

委員長 池井 豊

加茂市・田上町
消防衛生保育組合

8月臨時議会

期日 令和4年8月1日
場所 加茂市役所

議題

・ 契約の締結について
高規格救急自動車に積載する高度救命処置用資機材の2552万円の契約を締結します。
原案可決となりました。

議会終了後、ごみ処理施設建設特別委員会が開催されました。建設場所の候補地選定の手順について、12月を目処に第一次・第二次・第三次と候補地の選定作業を進めていきます。

組合議員 高橋 秀昌
関根 一義
池井 豊
椿 一春

三条地域水道用水
供給事業企業団

第2回定例会

期日 令和4年8月8日
場所 企業団事務所

水道用水供給条例の一部改正は、基本料金単価が三条市（63・11円）加茂市・田上町（67・90円）を一律52・44円に、使用料金単価（37・61円）を25・80円に改正となりました。

令和3年度未処分利益剰余金6億7663万5432円は減債積立金と資本金への組入れとなりました。

令和3年度決算など提案された3案件はそれぞれ可決、認定されました。

また、議長の選挙が行われ、三条市の酒井健市議が議長に当選しました。

組合議員 熊倉 正治
今井 幸代
藤田 直一

新潟県後期高齢者
医療広域連合

8月定例会

期日 令和4年8月24日
場所 新潟県自治会館

提出された議案は、条例の一部改正、令和3年度一般会計及び特別会計の歳入歳出決算、令和4年度特別会計の補正予算です。

令和2・3年と被保険者数が減少していますが、令和4年から増加に転じます。コロナ禍で落ち込んだ受診率は回復傾向です。

審査の結果、原案のとおり認定・可決しました。なお、決算額・補正額は左記のとおりです。

令和3年度決算		単位：千円	
	歳入	歳出	
一般会計	1,041,431	975,666	
特別会計	278,969,652	271,869,083	
令和4年度補正予算		単位：千円	
特別会計	補正額 7,147,851	医療財政調整基金への積立て及び各種負担金の清算	

組合議員 池井 豊

全員協議会

令和4年8月18日

県央地域の医療再編に関する説明について

県福祉保健部地域医療政策課より、県央地域の医療再編に向けた今後の方向性について説明を受けました。

現状の課題に対応するため、県央基幹病院を整備し、専門的な手術や救急入院や、質の高い医療を提供できます。後期高齢者などニーズの多い入院には、加茂病院を地域密着型病院として運営するとともに、従来の外来診療科目を維持しながら、平日昼間の救急搬送も受け入れます。

障がい者グループホームの開設について

（株）ビーエムビーが運営するグループホーム「ドッグテラス田上羽生田」の概要説明がありました。9月1日から事業を開始するアニマルセラピーを取り入れた施設で、軽度の精神・知的障がいの方が対象で、入居定員は5名です。

議長 小嶋 謙一

たがみバンブーブー 2022

～竹を楽しむ、竹の新アートプロジェクト～

地域課題を地域の強みに！

たがみバンブーブー実行委員会と道の駅たがみが中心となり、放置竹林の『竹』を活用した竹あかりの空間演出を楽しむイベント『たがみバンブーブー 2022』を10月30日まで開催しています。

イベント開催場所

椿寿荘・原ヶ崎運動広場脇竹林・道の駅たがみ・湯田上温泉各旅館



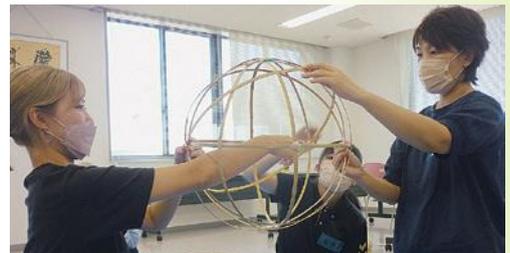
TAGAMI 2022
Bam Boo Boo

We enjoy Bamboo! It's New tagami style.

コロナ禍でも地域の皆さんが交流し、「ワクワクさせたい!」「竹”を資源として町の魅力を高めたい!」という思いで企画されました。

また、放置竹林・未整備竹林・廃棄竹を活用することで、地域課題を強みに変えて、町の魅力を高めていきたいと思っています。

バンブーブーとは? Bamboo (竹) と Boo (驚かせるための発声) を組み合わせ、「竹を使ってみんなを驚かせよう」という、実行委員会の想いが込められています。



◀▲灯籠の製作
設計図に合わせ、穴を開けます

▲竹まりの製作
細い竹を球体に組みます

ワークショップを実施し、参加して下さった地域の方々やボランティアの皆さんも、竹あかり・竹まり・竹とんぼを製作しました。

「竹といえば田上! 筍といえば田上!」とイメージしてもらえるような、象徴的なイベントになるよう、育てていきたいと思っています。



▲田上中学校でのワークショップ

広報常任委員会
委員長 中野 和美
副委員長 藤田 直一
委員 池井 幸代
委員 今井 豊
委員 渡邊 勝衛
委員 品田 政敏
委員 小野澤 健一

(藤田 記)
最後に、まだイベントは開催中です。ぜひ、足を運んでみてください。

(林野庁資料より)
「竹」とは、天候に関係なく、ほぼ1年ごとに豊作(表年)と不作(裏年)が繰り返されています。なぜなのでしょうが、町内の別々な場所でも、別々の時期に植えられた竹です。表年も裏年もバラバラであって、おかしさはありません。それなのになぜか反復が同時に行われます。これは『同調』という現象だそうですが、明確な説明は出来ないし、説明されていないようです。

たがみバンブーブーのイベントにちなんで、竹のお話です。
農作物は、その年の天候が良いか悪いかで豊作・不作が決まりますが、『竹の子』は、天候に関係なく、ほぼ1年ごとに豊作(表年)と不作(裏年)が繰り返されています。なぜなのでしょうが、町内の別々な場所でも、別々の時期に植えられた竹です。表年も裏年もバラバラであって、おかしさはありません。それなのになぜか反復が同時に行われます。これは『同調』という現象だそうですが、明確な説明は出来ないし、説明されていないようです。